

<h2 style="text-align: center;">海外短期プログラム参加者 報告書</h2>		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港中文大学 (国名 香港)	
参加プログラム名	SURP(Summer Undergraduate Research Program)	
プログラム期間	2018 年 6 月 24 日 ~ 8 月 19 日	
学部/学府・年次	農学部生物資源環境学科	4 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 「有」の場合、免除額を記入してください()	
	航空運賃はいくらかかりましたか？ 往復 4 万円 ()	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例:教材費、宿舍費、オプションの見学旅行など) プログラム参加費:1,650 香港ドル (約 2 万円) 寮費:7,550 香港ドル (約 11 万円)	
このプログラムを選んだ理由	7 月期と 8 月期に学校に行く必要がなく時間を持って余すことが分かっていたため、留学を含め国内外でのインターンシップなど様々な活動参加を検討していた。Neuroscience の領域に興味を持ち国内外でその分野での活動を希望していたところ、本プログラムでは似たような分野に関しての研究に携わることが判明した。プログラム参加費が 2 万円と良心的な価格であることと 2 か月間香港に長期滞在できることにも魅力を感じてこのプログラムに参加してみようと思った。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()月から) ②. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	
<h3>1. 参加プログラムと大学について</h3>		
プログラム(カリキュラム等)の概要について	各研究室に分かれて授業の一環として研究活動を行い、まとめとしてポスターを発表するか、ミニレポートやミニ論文を書いたりする。研究活動のクオリティと活動頻度は研究室の方針によって大幅に異なり、毎日 9 時から 6 時までラボで実験を行う学生もいれば、ラボには 2 回しか行かなかったという人もいた。毎週文化体験として香港の各地に行く有料のツアーがあるので友達が欲しい人は行けばよいと思う。	

<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面: とくになし。英語は必須 勉学面: 随時指導教官に相談 精神面: とくになし 住居・生活面: 寮のスタッフは英語が通じないこともあるので注意。原則として2人部屋しか用意されていないのでその点も注意。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>授業料がほぼ無償で参加できることはとても素晴らしいことだと思うし、私もこのプログラムに参加できて実際に機械を使って脳波を測ったりと、新しい経験をすることができて概ね満足だった。ただ、研究室によっては教授がまったく面倒を見てくれずに8週間何もすることがなかったとか、逆に教授がとても積極的で多くの活動に参加することができた、など研究室ごとの差は天地の如く、相当に激しいようであった。しかし、基本的にエンジニア系のラボに行けば必然的に実験を多く行うことになり密度の高い研究生活になると思うので密度の高い生活を好む人は参考にしてほしい。香港中文大学は研究施設も整って申し分ない研究環境だと感じた。</p>
<p>同じプログラムを希望する人々へのアドバイス</p>	<p>このプログラムは6月末から開催なのに関わらず、応募締め切りが2月末までとかなり早い。もしこのプログラムに参加したいのであれば、教授からの推薦状を一枚含めて早いうちから準備しておく必要がある。留年や休学などして、本来学校に行くべき6～8月期に日本で何もすることがないかつ、将来研究の方面を目指しているような学生にとっては良いプログラムなのかもしれない。このような状況にいる日本人学生は珍しいようで参加者の殆どがアメリカやヨーロッパからの学生で占められていた。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港中文大学</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>香港中文大学の担当のオフィスに必要な書類をメールと郵便ですべて送る</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1か月近く</p>
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	<p>プログラムに合格したことが分かってから約1週間以内にすべての書類を送付しなければオファーを辞退する、という文面が来てビックリした。実際は数日間の遅れは大丈夫らしいが、精神衛生的にもすぐに取り掛かれるよう香港ビザに合った写真を用意しておくなど事前準備はしておくことが大事になってくるだろう。</p>
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>ラボのある日はラボに行き、ない日は論文を読むなど研究に関連したことをして、時間が余れば自身で別の勉強をしていた。休日は香港の各所を訪れるなどした。</p>

生活費(全期間)及びおおよその内訳	物価は日本と比べて1~1.5倍という印象があり、全般的に物は高い。約8週間で 食費:15万円(外食のみ) 寮費:11万円 その他:3万円
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	・変換アダプター ・ノートパソコン ・医薬品類 全体的に香港で買うとかなり掛かるので出来るだけ物は持って行ったほうがいい。
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	・香港人はマナーもあって優しい人が多く、日本と似ている部分が多いので治安に関しては油断しそうになるかもしれない。しかし、香港へのImmigrationが手薄であることなども考えると日本よりは治安は悪いと思う。犯罪に巻き込まれる率はほかの諸外国と比べて低いことは予想されるが、最低限海外であるという意識をもって危険な場所にはいかない、貴重品は厳重に保管するなど自己管理をしっかりとしたところ。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	香港の爆発的な物価の高さを予期し、かつ予想外の状況も想起して、現金で30万円を日本で引き出してから財布に入れ、寮でスーツケースに鍵を掛けて保管していた。銀行口座開設は2か月間では厳しく、大学側もお勧めはしていなかった。クレジットカードはVISAとMasterなど複数のブランドで2枚以上あれば良いだろう。万が一に備えてカードは別の場所に保管するなど工夫はしておくことをお勧めする。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類(○印をつける)	○大学の寮・ホテル・その他()
立地	キャンパスの中ではてっぺんにあり、駅からはバスで15分程度。
伝えたい地域情報、生活情報	原則として2人部屋しか用意されていないようなので、どうしても嫌な人は相談してみるのもありかもしれない。私は二人部屋に慣れておらずなかなかストレスだった。
5. その他の特記事項	
質問などあれば随時受け付けます。	